

凜として生きる

- 1 周囲に対する思いやりと物事に挑戦する逞しさをもつ
- 2 自らを律し、礼儀正しく品格をもつ
- 3 文化を尊重し、豊かな表現力をもつ



教養を深め学力を伸ばし将来を拓く

充実の6年間一貫教育

Consistent education

和洋の教育の原点は、日本の美意識を核とした女子教育と、確かな学力を培う主体的学習です。13歳から18歳という人生の基盤をつくる貴重な6年間、成長段階と女子の特性を考慮した綿密なリベラルアーツ・プログラムを展開。グローバル社会を生き抜く教養や品格、科学的な思考を身につける

とともに、コミュニケーション力も磨きます。密度の濃い学びの中で人生の核となる自尊心を育みながら、将来を考えるキャリア教育も充実。一人ひとりの夢をかなえるために、様々な経験の場とサポート体制を整えています。

和洋女子教育プログラム

グローバル化の時代を生きるには、母国の文化を知りアイデンティティを確立することが重要です。本校では礼儀作法や社会人としてのマナー、茶道や華道を学び、日本女性としての立ち居振る舞いや美意識を習得。芸術に親しんで感性を磨き、主権者教育を通して社会的良識を身につけます。

主体的学習プログラム

自学自習の学習サイクルの確立と並行して、手帳などを用いて自律心を養成します。勉強合宿や受験特訓講座など各種講座を通して確かな学力を養成し、第一志望校合格を実現する自信と実力を培います。



		「人間関係をつくる」 中学 1 年	「自分を見つめる」 中学 2 年	「構想力を育てる」 中学 3 年	「自らの可能性を探る」 高校 1 年	「社会に目を向ける」 高校 2 年	「進路の決定」 高校 3 年
教育目標		自己肯定感を育み、自学自習・生活習慣を定着させる		自己を確立し、社会への関心を育む		社会に対する視野を広げ、 社会と関わる姿勢を育む	しなやかに 凛として生きる女性に
		i) 1日の時間の使い方を見直し、家庭学習・生活習慣を確立する ii) 正しい言葉遣いを身につける iii) コミュニケーションスキルを身につけ、良好な友人関係を築く		i) 多様な価値観を認め、周囲と協力する ii) 職業について関心を持ち、自分の将来、進路について考える		i) 責任と役割を自覚し、 リーダーとして行動する ii) 目標を設定し、チャレンジする iii) あきらめない強い心をつくる	i) 希望の進路に向け、 自己実現を目指す ii) 主体的に社会へ参画する
教科教育	国語	●読書習慣の確立・拡充 ●基本語彙の習得(辞書の徹底活用・漢字2000字完全習得)		●言語技術指導を通した思考力・表現力の育成		●思考力・表現力の深化 ●様々な入試形態に対応する演習	
		古文名文 暗唱					
	社会	●社会および社会科への興味・関心の育成 ●身近な地域調査(レポート) ●見学会		●裁判傍聴・租税教室		●博物館巡り ●社会科見学会	
	数学	●基礎基本の習得		●思考力・表現力の育成		●思考力・表現力の深化	●入試問題演習
	理科	●理科好きの育成 ●充実した実験・実習		●科学的理解力と知識の習得 ●環境をテーマとしたフィールドワークなど		●個別受験指導 ●多彩な実験・実習	
英語		和洋ラウンド システムにより繰り返し学ぶことで定着をはかり、実生活やグローバル社会に目を向ける					
		●10人前後の少人数制ネイティブ教員授業		●週2回のネイティブ教員授業		●大学入試に対応する演習	
		●英検3級取得		●英検準2級取得		●英検2級取得	
キャリア教育		自分に向き合う 社会を知る		将来像の確立 自分の生き方		主権者としての自覚 進路の選択	
		●思いやりの心を持つ ●コミュニケーションスキルの 習得		●職場訪問 ●職業講演 ●進路調べ ●学部・学科調べ ●大学訪問		●社会貢献について考える	
		●自分の特性を知る ●職業調べ ●レポート発表 ●ワークショップ				●志望校調査 ●バックアップ講座 ●特別授業 ●進学オリエンテーション	
		教研式学力検査・学力推移調査				進路調査・受験体験講演会	
						オープンキャンパス参加・大学学部ガイダンス スタディーサポート・進研模試	
HR 総合学習		日本の伝統文化 の基礎(礼法・邦楽・茶道・華道)を学び、その上で社会で役立つマナーを身につけた女性に					
	日本文化	礼法・華道		邦楽		茶道	
	読書	読書の基礎トレーニング		推薦図書250冊のリストから、毎朝10分間 読書を楽しむ		読書の基礎 推薦図書250冊のリストから、毎朝10分間読書を楽しむ	
						防災教育	

教育改革を推進する新教育研究部

「新教育研究部」は、多角的に教育改革を推進しています。中高大連携の学びを進化させ、大学のアカデミックスキルを授業に応用した探究型学習や教科横断型授業、ICTなど、変化する教育に対応する取り組みを展開。高校ではそれぞれの将来像に合致するコース編成とし、特進コースには受験専任教員チームを設置。一人ひとりに最適な受験対策を推し進め、GMARCH以上の難関大学合格を後押しします。

アイデンティティを確立し、世界と交流する 未来に生きる和洋の学び

Global Education

グローバル化の中で、急激に変化する社会。どのような未来が訪れようとも、対応し活躍するための礎を6年間で培います。本校は120年にわたり、日本の美意識を守りながら、時代の先をゆく新しい女子教育を実践してきました。日本人としてのアイデンティティを確立し、教養を深めながら、世界と対話できる生きた英語力を身につける。和洋の学びは時代に揺るぎなく、未来の可能性を広げる学びです。

受け継いでゆくもの

日本文化から学ぶ教養と品格

和の心は、相手がいてこそ成り立つもので、そこには深い対話があります。生きていく上で核となる美意識や価値観を持ち、国際化時代に不可欠なアイデンティティや文化的な基盤を育むために、時代を超えて通用する教養と品格を「日本文化」を通して身につけます。



茶道

茶室で作法を学び、思いやりの心や日本女性としての素養を身につけます。



礼法

礼儀作法や、その場に適したふるまい、食事の作法を学びます。



邦楽

箏の奏法を習得しながら、和の精神に触れ、伝統芸能を理解する感性を養います。



華道

華道を学び、教室に花を飾るなど身の回りを整える習慣を身につけます。



書写

正しく美しい文字の書き方を学ぶとともに、鑑賞する目も養います。

切り拓いてゆくもの

世界に通用するグローバル教育

国際社会で通用する英語力を習得する「和洋ラウンドシステム」を軸とし、ネイティブ教員と連携して4技能をバランスよく養成。異文化を理解する海外研修やエッセイライティング、プレゼンテーションなども取り入れながら、大学入試はもちろん将来にも役立つ英語力を育成します。

和洋ラウンドシステム

Wayo Round System

和洋ラウンドシステムの仕組み

- ラウンド1** 教科書を開かず、音声とピクチャーカード、教員との英語でのやり取りだけで、教科書1冊を学習します。
- ラウンド2** シャッフルされた教科書の英文をリスニングをもとに順番通りに並び替え、音と文字を一致させます。
- ラウンド3** 初めて教科書を開いて音読を繰り返し、文字として読むことを練習。英単語の確認も行います。
- ラウンド4** 難易度の高い音読を繰り返して定着。虫食いプリントを活用し、内容の再現や英文法を確認していきます。
- ラウンド5** 1年間繰り返してきたことを生かして、自分の言葉で教科書の内容を説明。言葉としてのアウトプットがゴールです。



英語4技能の能力アップ

ネイティブ教員と日本人の英語教員による細やかな指導で、英語4技能運用能力を高めます。和洋ラウンドシステムにより多くの例文がインプットされているため、文法の理解もスムーズ。リスニングや長文読解にも自信を持ち、英語での様々なコミュニケーションを楽しんでいます。

英検に意欲的に挑戦

和洋独自の充実した英語教育により、向上心を持って学ぶ生徒が増えています。それにより中学2年で英検3級合格者は約半数、中学3年で準2級、高校では2級や準1級に合格する生徒が年々増加しています。

英語研修・留学プログラム English special program

佐倉セミナーハウスでの英語宿泊研修のほか、オーストラリアやヨーロッパへ様々な海外研修・留学プログラムを用意。異文化体験や現地の人々との交流を通じ、コミュニケーションの大切さを体感。英語学習への意欲や知的好奇心を深める契機になっています。

国内で英語漬け体験をする 英語宿泊研修

習熟度別クラスで全学年の希望者を対象に実施。冬休みの3日間、オーストラリアの姉妹校から招いたネイティブ教員や卒業生のアシスタントと共に過ごします。英語だけを使ってレッスンし生活するだけでなく、オーストラリアの文化や風習、歌や踊り、動物、食べ物などの知識も学べ、国際理解を深める貴重な機会になっています。



異文化に触れ、向上心を刺激する 海外文化研修

隔年で英国とイタリアを目的地とし、中3～高2の希望者を対象として3月に実施しています。英国ではオックスフォード大学でのティータイムなど英国文化を堪能。イタリアでは各地の世界遺産や美術館を見学。ネイティブ教員による英会話指導、テーマごとの探究学習など事前学習も充実し、研修をさらに有意義なものにしています。※変更になる場合があります。



	対象学年	実施期間	内容
英語宿泊研修	中1～高1	冬休み 3日間	佐倉セミナーハウスで英語漬け体験
海外文化研修	中3～高2	春休み	隔年で英国とイタリアで実施
オーストラリア語学研修	高2	夏休み 2週間 短期留学 2ヵ月	姉妹校の名門女子校での語学研修
カナダ留学	高1～高2	1月下旬から1年間	※単位取得可

※希望者のみ

「主体的・対話的で深い学び」を長年実践 学力と人間力向上の取り組み

Wayo's education

五感を駆使するサイエンス教育

中学3年間で約100項目の実験・観察を実施し「実体験から学ぶ科学」を展開。問題を見つけて解決する力を育み、生活に結びついた探究を通して自然の本質に迫り、「生きた学力」を習得します。



実験実習

自ら手を動かして考える実験実習を通し、実験技術や科学的な見方・考え方を養成。大学の高度な設備を活用した実験などで知的好奇心を育みます。



フィールドワーク

臨海学校や天体観測会、地域の生物や地形などを調査するフィールドワークを重ね、本物の自然を親しみながら体感し、科学的に調べる力を養います。



各自のテーマで研究

自ら決めたテーマで課題研究を実施。「実験の企画→グループでのデータ分析→レポート作成→プレゼンテーション」の科学的なプロセスを体得します。



グループワーク



自己管理能力の養成

手帳を活用し、1日のスケジュールから、週単位・月単位の学習目標設定など、先を読んで自ら計画。毎日続けることで生活リズムを整え、自己管理能力を養います。自己肯定感の育成、担任とのコミュニケーションにも役立ちます。



分析力

思考力

応用力

主体的・対話的で深い学び

コミュニケーション力

リーダーシップ

学習や部活動など学校生活のあらゆる場面において、PDCAサイクルの習慣を身につけます。P(プラン:計画)D(ドゥ:実行)C(チェック:確認)A(アクション:改善)で行動することにより、自律的な生活と先を見据えて的確に努力する姿勢が養われます。

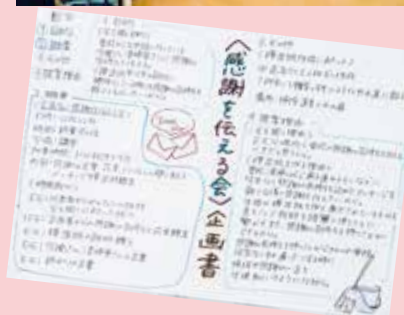
PDCA

定期テストに向けて主体的に対策するためのノートです。計画できたか→計画通りに実行できたか→何を改善すべきかを自分で確認。努力と成果を分析し次のテストに臨むPDCAサイクルは、社会人になってからも役立つ手法です。

成績ノート



ディスカッション



心を育む朝読書

6年間通して、毎朝10分間の「読書」の時間を設けます。読書は、本物の学力と人間力を下支えるものです。6年間続けることで、様々な価値観や事象に触れて見識を広め、思考を深化させていきます。

プレゼンテーション



アカデミックスキルとICT

探究型の学習に欠かせないICT。一人1台のPCを用い、情報を取捨選択する眼を養う調べ学習、情報のデザインと発信、グループワークなどを日々実践し、ICTをツールとして使いこなす能力を身につけます。



グループワーク

生徒が主体となって課題に取り組むグループワークを全教科で採用。課題解決のための思考力や協働力、言語技術などをバランスよく育みます。



ディスカッション

自分の考えを論理的に伝えると同時に、他者の考えに耳を傾け理解するディスカッション。視野を広げ、積極性やリーダーシップも養います。



プレゼンテーション

グループごとにテーマを決め、パワーポイントでレポートを作成。わかりやすく伝えるための論理性やデザイン力など、多くの力が身につきます。

変化の激しい時代を「生きる力」の育成を目指し、文部科学省が2020年の新学習指導要領により推進している「主体的・対話的で深い学び」。本校では、すでに長年にわたって独自の教育プログラムの中で取り組んできた歴史があり、成果を上げてきました。さらに、新教育研究部が中心となり、教科横断型のICT活用、協働力や表現力の養成を進め、自己管理能力や分析力など未来に求められる力を磨く様々な場面を設定。知的好奇心を起点に主体的に学びながら、学力と人間力を豊かに伸ばしていきます。

学校生活の原動力として—— 生徒会長

私たち生徒会は、より主体的な学校生活を目指して活動しています。さまざまな形で学校行事に参加、とくに学園祭では中心となって準備・運営に携わっています。とても忙しい毎日ですが、行事が終わった後は大きな達成感とともに自分の成長を感じます。



Club Activities

部活動

約9割の生徒が部活動に参加。全国に知られるクラブも多く、熱心に活動しています。高校生と一緒に活動する中で、勉強との両立の仕方や礼儀など、先輩から後輩へと自然に受け継がれます。体力や技術の向上のみならず、マナーや人間関係を学びながら、大きく成長していきます。18時に完全下校とし、安全にも配慮しています。

運動部

●水泳 ●卓球 ●ダンス ●陸上 ●ソフトボール
●ソフトテニス ●バスケットボール ●バドミントン

文化部

●吹奏楽 ●茶道 ●華道 ●箏 ●演劇 ●音楽 ●美術
●英語 ●書道 ●栄養 ●手芸・被服 ●理科 ●数学



和洋生に聞きました!

今の部活動に決めたきっかけは?

👑第1位 好きだから。やってみたくて。

第2位 もともとやっていた。

第3位 新入生歓迎会、学園祭などの発表を見て。

他には、

伝統系部活動ならではの「お免状がいただけるから」「珍しい部活動だから」。
勉強系部活動では「苦手科目を克服したくて」「ネティブの先生と話したくて」
という回答もありました。

自分の時間も大事にしたい派は「勉強と両立できる」など、
無理のない範囲で、部活動を楽しんでいます。



部活動実績(2019年度)

〈中学〉卓球部 全国大会出場
水泳部 全国大会出場
〈高校〉卓球部 全国大会出場
水泳部 国民体育大会出場
全国大会出場
書道部 全国大会出場
ダンス部 全日本高校大学ダンス
フェスティバル神戸 入選

和洋生に聞きました!

今の部活動を続けられている理由は!?

👑第1位 先輩、後輩の仲の良さ、
部活動内の雰囲気の良さ。

第2位 部活動が楽しいから。好きだから。

第3位 顧問の先生、コーチ、師範の先生の支え。

他には、

「もっと上手になりたい」などの向上心や、
「達成感」「夢のため」などの回答がありました。



Wayo's life 和洋の1日



今日も1日
がんばろうー!

～ 8:30 登校



8:30～ 8:35 学活
8:35～ 8:45 読書

朝の読書から
1日が始まります!



8:50～ 9:40 1時間目
9:50～10:40 2時間目
10:50～11:40 3時間目
11:50～12:40 4時間目
12:40～13:20 昼休み

ご飯を食べて
午後もがんばろう!



13:20～14:10 5時間目
14:20～15:10 6時間目
15:15～ 学活・清掃



お掃除も
しっかり!

放課後～部活動・
各種講座
18:00 最終下校



部活動や学校生活について Q&A

Q 中学生と高校生は一緒に活動しますか?

A 部活動によりませんが、基本的に合同で練習しています。高校生は中学生の手本になるよう努力し、その姿や技術を間近で学ぶことは中学生にとっても有意義だと考えています。

Q 部活動の活動時間について教えてください。

A 下校時の生徒の安全、家族との時間や家庭学習の時間にも配慮し、原則として18時に完全下校としています。

Q 部活動の加入率はどうのくらいですか?

A 学年によって異なりますが、中学生の加入率は約90%以上、高校生の加入率は約80%です。部活動の活動日によっては掛け持ちも可能です。

Q いじめについて何か対策を行っていますか?

A 個別アンケートを実施、また面談等で個々の話を聞くことはもちろん、日頃から相談しやすい雰囲気作りを心掛けています。委員会を設置し、校内共通のガイドラインも作っています。



入学式



遠足



体育大会



学園祭



Annual events

年間行事

明るく穏やかな環境の中、夢に向かって友と切磋琢磨する和洋での学校生活。その日々は、様々な行事に彩られています。みんなで力を合わせてつくりあげる喜び。自己を表現する貴重な経験。いましか味わえない、いまだからこそかけがえのない、きらめくような瞬間がここにあります。

4 Apr

・入学式

5 May

・遠足

6 Jun

・体育大会

7 Jul

・林間学校

9 Sep

・学園祭

・弁論大会

・英語スピーチ
コンテスト

10 Oct

・修学旅行

11 Nov

・マラソン大会

12 Dec

・英語宿泊研修
・合唱コンクール

3 Mar

・海外文化研修

Uniform

制服紹介

伝統のセーラー服の端正な身だしなみ、品位ある姿が和洋生の基本です。



※ラインの色は、学年によって異なります。



林間学校



毎年7月に、2泊3日の日程で会津を訪れます。磐梯山登山など豊かな自然に触れながら、中1は地理的な学び、中2は日本史を学ぶコースをそれぞれ設定し、2学年合同で実施しています。



修学旅行



2泊3日の日程で京都・奈良へ。ツアーコンダクターのように自主的にコンセプトやコースを決め、班別研修のパフレットを手作りしたり、プレゼンテーションするなど事前・事後学習も充実しています。



合唱
コンクール



英語
宿泊研修



海外
文化研修

女子の特性を生かして知的好奇心を広げる 学習・キャリアサポート体制

Wayo's support system

学習内容を繰り返しテストし理解する「反復学習」を柱とした、女子の特性を生かす学びのステップで基礎学力を養成。一人ひとりを、クラスの担任や各教科の教員など多くの眼と心で見守る体制が和洋の特長です。学ぶ楽しさや自己肯定感を育むことで、発展的な学習に主体的に取り組む土台を築き、未来を切り拓く実力を身につけます。

自学自習の定着と、密な学習フォロー体制

「学ぶ楽しさ」を知る機会を数多く設けて自学自習の姿勢を育み、探究型授業で知的好奇心を豊かに育みます。数学のリメディアル講座、習熟度別授業や指名制の補習などで「わからない」を解消。夏休み講座で向上心や応用力を後押しするなど、中学時代に基礎学力を固め、進路の可能性や選択肢を広げていきます。

「わからない」を残さない

英語・数学でつまずきが見られる生徒を対象に、追試や補習を実施。授業→自習→試験→振り返りを反復し、自分で解決する能力を養成。勉強の楽しさを実感する機会になり、成果も上がっています。

- ✓ 英数では「指名補習」で基本の確認と習得
- ✓ 国語は朝の「追試・補講」で基本の確認
- ✓ 国英数は単元ごとに小テストで弱点を確認
- ✓ 期末試験前に復習
- ✓ 授業→自習→試験→振り返りの反復学習

FOLLOW UP システム



個性と目的に合わせて伸ばす

朝・放課後に補講を実施するほか、自習環境を整え、夏期・冬期講習も充実させながら、高校での学びにつながる学力を養成していきます。

- ✓ 朝の補講で「英検準2級・2級対策講座」
- ✓ 夏期にネイティブ教員による「英語講座」
- ✓ 応用力と実践力を養う「夏期講座」
- ✓ 学期ごとに「希望補習」を朝夕に実施

STEP UP システム

夏期講座（2019年度実施の一例）

国語	古典の名作に親しもう
英語	英検4級合格
数学	数学検定3級講座
理科	臨海実習

数学でつまずかないための

入学直後に、小学校での算数をしっかり復習するリメディアル講座を実施。苦手意識により数学でつまずかないために、まず「わからない」を解消して自信をつけ、数学的な学力や思考力を習得する土台づくりをサポートします。

リメディアル講座

自分を生かせる未来を見出すキャリア・進路教育

中学時代は、長所短所を含めて自分を振り返り、自分を生かせる人生や職業観を考えていく時期。高校時代はそれをベースに自ら可能性を突き詰め、文理の選択、さらに大学選び、合格に必要な勉強を自主的に進めていきます。本校では、探究的なキャリア教育プログラムと大学受験に向けた各種講座で、将来に対する自信と使命感を育みます。

将来を見据えた進路教育

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
細やかなステップで授業の理解度を確認、 学習内容を定着させると同時に、 意欲関心を引き出す発展的な学習にも対応する			学習サポート体制を強化し、 基礎学力を身につける 勉強合宿でやり抜く力や 挑戦する力を養う		志を胸に、 壁を乗り越え られる女性に
授業の受け方・ガイダンス 予習・復習の仕方 リメディアル講座の実施 単元補習(指名制)			リメディアル講座の 実施	高校・大学連携授業	
夏期講座・冬期講座					
夏期勉強合宿・英語早期講座(アドヴァンスト)					
実用英語検定・実用数学検定受検指導					
弁論大会・スピーチコンテスト			受験特訓講座(国語・数学・英語・理科・社会)*理科・社会は開講科目限定		

学ぶ意欲を 後押しする自習環境

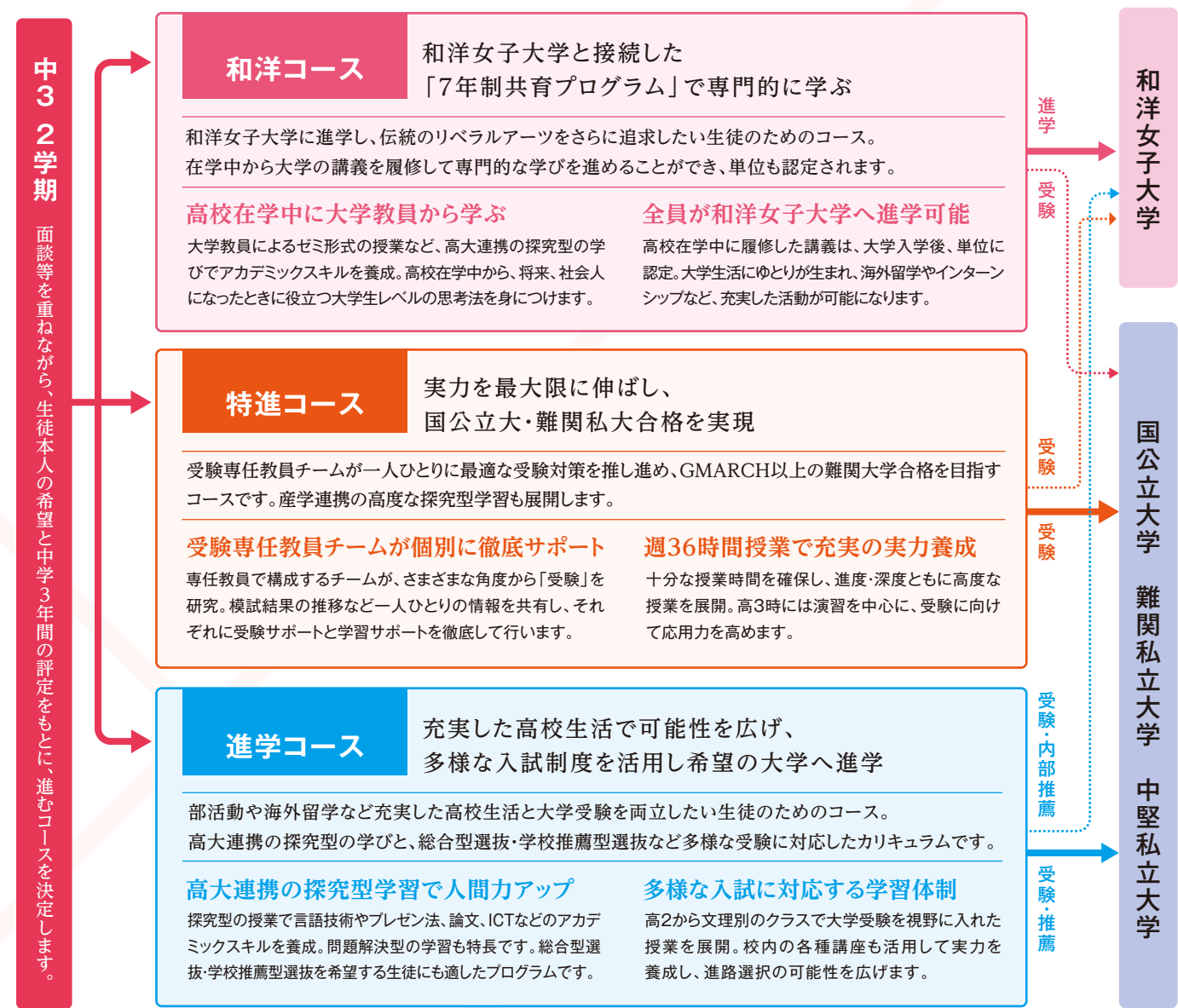
毎朝7:00~8:20の間および放課後に1教室を自習室に設定し、学ぶ意欲に応え、向上心を育む学習環境を整えています。職員室前の質問スペースでは、各教科の教員が生徒の疑問に答え、個別に課題を出すことも日常の風景になっています。

夢をかなえる実力を身につける 高校のコースと特色

Wayo's high school

教育改革を推進する中、「特進コース」「進学コース」に加え、2020年度から「和洋コース」を新設。校内でのサポート体制を充実させ、一人ひとりの志望に適した密度の高い教育プログラムを展開します。「和洋コース」は、和洋女子大学進学を前提に高校在学中から大学教員のゼミ形式授業や講義を履修でき、大学入学後には単位認定される共育プログラムが特長です。「特進コース」は、受験専任教員チームによる研究・分析・対策のもと実力を伸ばし、難関大学合格を実現するコース。「進学コース」は、高大連携の探究型の学びが特長で、総合型選抜・学校推薦型選抜などでの大学進学を目指す生徒にも適しています。

将来像に合致した学びで進路を拓く3コース編制



※和洋コースは原則的に全員が和洋女子大学へ入学できますが、看護・栄養・こども発達国家資格取得を目指す学部には一定の基準が設けられます。

高校について Q & A

Q 併設中学から全員高校に進学できるのでしょうか？

A 原則、ほぼ全員が進学しています。転居等で毎年数名の生徒が外部高校に進学します。

Q 勉強が遅れてしまった生徒に補習はありますか？

A 教科によっては基準に満たない場合、追試や勉強会を行うことがあります。



英語4技能運用能力

英語和洋ラウンドシステムの導入。これは教科書の読解にとどまることなく、4技能をバランスよく育てます。繰り返し練習を重ねることで内容定着をはかるだけでなく、学習内容を実生活や社会と関連させることで英語力を高めます。その成果として英検2級取得者の割合が急増、高校1・2年生で英検準1級取得者も出ています。

勉強合宿

勉強合宿は、1日10時間を超える勉強を通して、自学自習の習慣や忍耐力を身につけ、個々の学習体制を整えることを目的とした和洋の伝統行事です。特進コースは全員参加、進学コースは希望者が参加しています。長時間集中する学習体験には苦しみもありますが、卒業生にはかけがえのない思い出の一つになっているようです。

夏期・冬期講座

志望校合格を目指す生徒のために、ハイレベルな内容の講座を中心として、夏と冬の長期休暇中に実施しています。2019年度の夏期講座は16講座が開講され、延べ438名が受講しました。

夏期講座	8月 I期:5日間 II期:5日間(1日90分×3コマ) ※複数受講可能
冬期講座	12月下旬 3日間(1日90分×3コマ) ※複数受講可能

夏期講座 ●センター入試対策(現代文・古文) ●古典文法～用語の復習・応用～ ●英文法基礎 ●英検2級合格 ●英語プレゼンテーション ●数I「2次関数」基本～標準 ●数I「2次関数」応用 ●数IA共通テスト試行調査チャレンジ	●数IIBセンター試験対策 ●化学実験演習 ●化学演習 ●物理演習 ●生物演習 ●日本近代経済史 ●ヨーロッパ前近代政治・社会史
冬期講座 ●英検2級 ●数I 三角比 ●数学B 平面ベクトル ●数I・II 様々な関数の最大・最小	●物理演習 ●日本史 史・資料読解演習 ●センター試験にチャレンジ ●センター入試対策(現代文)

2019年度例

受験サポート講座

学年や各教科担当教員が、生徒の状況に応じて開講します。始業前や放課後を活用し、一人ひとりを適切にサポート。早期から大学入試に向けて備えることが可能です。

●数IA講座	●英検準1級・難関大	●英検2級対策
●私大英語	●英検準2級対策	●英語センター対策

2019年度例

受験特訓講座

高い志をもつ生徒が集い、互いに切磋琢磨して実力をつけていく「受験特訓講座」。入試問題に精通した本校教員と受験の最前線に立つ予備校講師が、常により良い指導、一段高い講義を目指して研究を重ねながら指導します。高1は国語・数学・英語、高2では国語・数学・英語・化学・日本史・世界史、高3は演習を中心に国語・数学・英語・化学・日本史・世界史の講座を開講。1年間で進研模試の偏差値を10～20ポイント上げる成果を出しています。学力養成と同時に、大学での勉学に繋がるものの考え方や幅広い興味・関心も養うよう努めています。

Q 授業以外での学習面の取り組みはありますか？

A 受験特訓講座、夏期・冬期講座、リメディアル講座など、学内で万全のサポート体制をとっており、多くの生徒が参加しています。

Q 各種講座について費用を教えてください。

A 夏期・冬期講座は無料。受験特訓講座は年間、高1:英・数・国 各30,000円、高2:英・数・国・世・化は各30,000円、日本史は15,000円、高3:英・数・国・化・日は各30,000円、世界史は15,000円。(2020年度予定) ※変更する場合があります。

大学合格、その先の未来を共に考える

個性を尊重した進路サポート

For the Future

和洋では6年間を通して、自分の生き方を見つめ、本当にやりたいことを見出していく探究型のキャリア教育を実践しています。一人ひとりの個性や価値観に適した未来を共に考え、社会に貢献するためにどのように自分を磨いていくか自覚して行動するところから指導。多様な進路を視野に入れてサポートしていきます。大学受験に向けての学力はもちろん、問題解決能力や忍耐力など社会人として大切な力の養成にも力を入れています。

真の学力を培い大学受験へ

大学入試改革により、試験の形式や内容は年々変化していく可能性があります。しかし、和洋では、「わからないを残さない」基礎学力の定着、充実した演習科目や各種校内講座による応用力の養成、さらには英語4技能など新たに求められるようになった能力の習得などを徹底。時代の変化にも揺るがない真の学力を6年間で培い、一般入試で合格できる実力を身につけます。



文理に多彩な学校推薦型選抜大学

大学への入り方が多様化する現代にあって、学校推薦型選抜は重要な選択肢になっています。この制度を利用するためには、高校3年間の学業はもちろん、部活動や課外活動の実績も大切になり、学校推薦型選抜を目指すことで学校生活の充実にもつながります。和洋では、文系・理系ともに多くの大学より指定校の枠をいただいています。

学校推薦型選抜大学一例(2019年度実績)		
□文系・芸術		□理系
上智大学(文)	津田塾大学(学芸)	東京理科大学(理・基礎工学)
学習院大学(文)	東京女子大学(現代教養)	学習院大学(理)
法政大学(社・経)		工学院大学(建・先進工・情報・工)
國學院大学(文・経)	日本女子大学(文・人間社会・家政)	東京都市大学(都市生活・メディア・環境・理工・建・情報・人間)
成蹊大学(文・法・経)	学習院女子大学(国際文化)	東京電機大学(工・理工・システムデザイン・未来科学)
明治学院大学(文・法・経・社)	白百合女子大学(文・人間総合)	東京農業大学(生物産業)
武蔵大学(人文)	女子栄養大学(栄養)	芝浦工業大学(工・システム理工・デザイン工)
駒澤大学(法)	聖心女子大学(文)	成蹊大学(理工)
東洋大学(文)	武蔵野音楽大学(音楽)	東邦大学(理・健康科学)
獨協大学(外・法)	女子美術大学(芸術)	東洋大学(理工・生命科学)
日本大学(法・経)		日本大学(生産工・薬・松戸歯)
神田外語大学(外)		北里大学(看護)
		東京女子医科大学(看護)
		帝京大学(医療技術・理工)
		日本獣医生命科学大学(獣医)

令和元年度卒業生 主な合格実績

国公立大学	私立大学				
千葉大学(1)	早稲田大学(4)	学習院大学(1)	神田外語大学(3)	帝京大学(3)	東京女子大学(2)
埼玉大学(1)	慶應義塾大学(1)	法政大学(2)	獨協大学(3)	東邦大学(8)	日本大学(5)
東京藝術大学(1)	上智大学(3)	成蹊大学(4)	東京農業大学(1)	岩手医科大学(1)	大妻女子大学(4)
	明治大学(2)	成城大学(1)	千葉工業大学(5)	医療創生大学(1)	学習院女子大学(2)
	青山学院大学(2)	明治学院大学(2)	麻布大学(1)	国際医療福祉大学(1)	聖心女子大学(3)
	立教大学(4)	文教大学(1)	北里大学(2)	明治薬科大学(1)	和洋女子大学(53)

※()は合格人数

2020年3月 卒業生

和洋女子大学

社会で活躍する自立した女性を育成する和洋女子大学。中高大連携で高度な学びに刺激を受ける機会が多く、内部推薦を目指す場合は、高校時代から大学の講義を受講(卒業単位に認定)でき、大学ではゆとりを持って留学や社会貢献、資格取得など充実した生活が可能になります。例年約20%の生徒が和洋女子大学に進学しています。

2018年新設 看護学部



看護学科

地域医療に貢献する優れた看護専門職を育成

和洋女子大学は、建学の精神である女性教育の充実と社会を支える人材育成の重要性を継承した教育を実践してきました。看護学部の開設は、建学の理念のもと、日本の医療分野を担う「質の高い」「地域医療に貢献できる」人材の養成を目指すものです。既存の他学部と同じキャンパス内に、看護学部の施設を備えた校舎を新設。最新鋭の設備と充実のカリキュラムで、密度の高い講義を展開します。

2020年4月誕生 国際学部



英語コミュニケーション学科

ネイティブ教員による実践型授業、充実した海外語学研修やビジネス英語習得を通し、真のコミュニケーション力を育成します。

国際学科

国際的教養と高い語学力を身につけながら、世界の社会問題や観光などを幅広く学び、将来に直結する実践的スキルを習得します。

人文学部



日本文学文化学科

日本文学専攻
書道専攻
文化芸術専攻

古代から現代までの日本文化の豊かな世界を学び、専門技能や自己表現力を磨き、日本文化の担い手に。



心理学科

基礎を固め、専門的な演習を重ねて、人の心を支える知識と技術を習得。思いやりと自立心を兼ね備えた女性に。



こども発達学科

幅広い教養と保育理論を学び、実習や演習で保育・幼児教育の実践力を養成。こどもの未来を育む保育者に。

家政学部



服飾造形学科

企画・デザイン・素材・制作・コーディネート・ファッションビジネスを学び、服飾業界で活躍できる人材に。



健康栄養学科

人々の健康を支える食と栄養に関して、知識と技術の両面からアプローチするプロの「管理栄養士」に。



家政福祉学科

「衣食住」「社会福祉」「保育」を専門的に学び、保育士や教員、社会福祉士などの資格取得を目標に。

進学について Q&A

Q 指定校推薦について最近の状況を教えてください。

A 難関私立大学をはじめ140大学以上に700以上の学校推薦型選抜枠があり、毎年およそ2割前後の生徒が活用しています。

Q 体育大学や芸術大学志望者のための進学サポートはありますか？

A 毎年、体育大学や芸術大学に進学しています。音楽・美術・書道などの芸術系大学志望者には、経験ある専門教員が個別にレッスンや指導を行い、受験までしっかりサポートしていきます。

Q 和洋女子大学には全員進学できますか？

A 和洋コースは原則全員進学できます。進学コースは、各学部で決められた評定基準を満たした場合、内部推薦という形で進学できます。また、他大学の一般受験に挑戦できる併願制度があります。ただし、単願の場合より推薦基準が上がります。特進コースは、一般入試でのみ進学可能です。

Q 和洋女子大学への内部進学率はどのくらいですか？

A 年により多少の変化はありますが、卒業生の約2割が和洋女子大学に進学します。

施設紹介

Facility

江戸川を望む緑美しい高台に広がる中・高・大連携キャンパスでは、講義や実習など様々な交流が行われ、和洋ならではの貴重な学びが展開します。最新設備が充実した校舎内には、季節の花などで優しい雰囲気醸し出しています。



体育館

2つのアリーナやトレーニングスペース、学生ホール(食堂)などを備えています。



温水プール

通年泳げる温水プールが体育館1階にあり、授業や部活動に使用しています。



プレイルーム

体育館2階のプレイルームは壁一面が鏡貼りで、ダンスの授業や部活動で活用します。



図書館

約10万冊を所蔵する開架式の図書館。自習スペースとしても利用されています。



CAL教室・第2CAL教室

約140台のパソコンを完備。情報の授業や各教科の調べ学習などに活用します。



国分グラウンド

テニスコート5面、ハンドボールコート1面、ソフトボール場、200mトラックを完備。



お弁当を持って来られなかった日は学生ホールでお弁当や焼きたてのパンを買うこともできます



購買部では、文房具はもちろん、飲み物やパンも販売しています



安心な学びの場

避難訓練や講演の実施、オリジナルマップなどで防災意識を高めるとともに、安全教育で「自分の身は自分で守る」意識づけを徹底。守衛の常駐や防犯カメラによるセキュリティの向上に努めています。

- 地震に強い耐震構造の校舎
- 緊急地震速報受信装置
- 緊急一斉配信システム (NTT子ども安全連絡網Fair Cast®)
- 緊急時自家発電システム
- AED(心肺蘇生器)6台
- 正門に守衛が常駐
- 防犯カメラを要所に設置
- 各教室に非常警報装置を設置

凜として生きる

和洋国府台女子中学校は創立以来、進取の女子教育を実践してきました。勉学や芸術とともに、日本女性としての品格を育む人間教育の伝統は高く評価されています。理念である「凜として生きる」とは、自分で考え責任を自覚して行動する姿勢。そして強い気持ちで夢を実現し、社会に貢献し充実した人生を送る姿を意味しています。

中学時代は和洋ラウンドシステムで母国語のように英語を学び、実験実習やフィールドワークなど五感を駆使して本物に触れる学びが特長です。高校では一人ひとりの将来像に合致するコースを選択。多彩な講習や講座で応用力を磨き、目指す進路を切り拓く実力を身につけます。中高時代から探究型学習を通じたアカデミックスキルの習得を目指し、大学教員の特別講座や産官学連携の取り組みなど様々な刺激を用意しています。和洋女子大への進学、外部大学への挑戦。それぞれの第一志望合格に向けて最適なサポートを研究し、すべての教職員が全力で見守り支えます。



和洋国府台女子中学校
校長 宮崎 康

和洋の原点

堀越千代は、明治の世にあって、日本の近代化のために、経済的・人間的に社会で自立できる女性の育成を目指して和洋を創設しました。それはまさに時代が求める女性教育を実践する和洋の原点であり、この理念は今日もなお、その輝きを失うことなく受け継がれています。



創業者
堀越 千代

年表

令和2年 2020	平成30年 2018	平成29年 2017	平成27年 2015	平成18年 2006	平成9年 1997	平成4年 1992	昭和57年 1982	昭和25年 1950	昭和24年 1949	昭和23年 1948	昭和21年 1946	昭和3年 1928	明治34年 1901	明治30年 1897
和洋コース設立 ファッションテクニクス科募集停止	中学校校舎移転	和洋学園創立120周年	新体育館プール竣工	被服科をファッションテクニクス科へ改称	和洋学園創立100周年	和洋国府台女子高等学校・同中学校と改称	中学校を市川市国分に移転	和洋女子大学附属国府台女子高等学校・同中学校と改称	和洋女子中学校設置	和洋女子高等学校設置	和洋女子専門学校に昇格	専門学校令により、和洋女子専門学校に昇格	以後この日をもって創立記念日とする	私立学校令制定により、飯田町(現在の千代田区富士見)に創設

卒業生からのメッセージ

Messages from graduates



**可能性に気づかせ、
女性としての自立心を育んでくれた6年間。**

早稲田大学国際教養学部国際教養学科

童 絵美奈（特進コース2020年3月卒業）

ファッションに興味があったことが中学から和洋に入学した理由でしたが、最初の中間テストで思ったよりも良い成績でびっくり。それからは勉強もがんばるようになりました。仲良しの笹本さんは良きライバルで、大学見学も一緒に行き、励ましました。特進コースの授業は発表する機会が多く、準備して臨み成功する経験を重ねて自信がつきました。自分を表現できるようになり、メンタル面で大きく成長したと感じます。また、女子校では力仕事も自分たちで行うため、女性としての自立心も養われました。これからは女性も働く時代。大学で見識を広げて、社会に役立つ人になりたいと思います。

**和洋の英語が楽しくて、
大きく広がった向上心と知的好奇心。**

上智大学外国語学部フランス語学科

笹本 向日葵（特進コース2020年3月卒業）

家が近所で仲良しの童さんに誘われて、和洋へ入学。特に英語の授業が楽しくて大好きになり、他の勉強も努力すればするほど結果がついてきて自信になりました。高校は、授業数が多く勉強に集中できる特進コースへ進学。中学時代からの自学自習の習慣と、知識欲を刺激してくれる授業のおかげで、予備校には行かず、校内の講座だけで受験に向かいました。卒業までに英検準1級を取得し英語は早めに仕上がり、高3では時間を要する世界史に集中。先生の個別指導にも助けられました。勉強だけではなく、和洋で出会い、夢や不安を語り励まし合った友達は私の大切なものです。



**和洋が教えてくれた夢を追う素晴らしさと、
人として大切なこと。**

東京藝術大学音楽学部楽理科

元橋 琴音（特進コース2020年3月卒業）

小学5年生の時に学校説明会で出会った先生に、「しっかり勉強しながら、好きなことががんばろう」と言われたことが心に響いて、和洋に入学。その言葉を守り、授業にもピアノにも一生懸命取り組みました。東京藝大を志望校に決めたのは、高1の夏。専門の塾に通いながら、センター試験に向けては、勉強はもちろん精神面でも和洋の先生方にたいへんお世話になりました。和洋は夢を素直に語れて、周りの誰もがそれをリスペクトし応援してくれる学校です。人として大切な本当のやさしさが、私の可能性を広げてくれました。将来どのような道に進もうとも、和洋の心を忘れません。



穏やかで明るい校風の中、将来の目標に向かいまっすぐに進む6年間。和洋での学びの真価は、大学生や社会人となった時にも、揺るぎない核となって、その活躍や人生を支えます。いま、生き生きと道を切り拓いている卒業生がどのような6年間を過ごし、どんな目標に向かって努力しているか。そのメッセージにはそれぞれの個性とともに、和洋生のDNAも感じられることでしょう。



**勉強と新体操。どちらも全力の私を支え、
目標に向かわせてくれた和洋。**

千葉大学教育学部小学校コース

伊藤 成美（特進コース2020年3月卒業）

中学時代の思い出は、生徒会長として学園祭の運営など貴重な経験ができたことです。小学校教員を目指し千葉大学を志望校に決め、特進コースに進みました。勉強との両立に悩みながらも新体操をがんばり通し、高2の県大会で2位となり全国大会に出場。受験対策は校内の講座も活用し必死で勉強。理系科目は少人数クラスでセンターレベルを確実に学べ、模試の得点も上がり自信になりました。2次試験に向けて筆記の添削や面接の練習をしていただき、心強かったです。和洋の先生方のように一人ひとりの「わからないこと」に気づき、親身になって支えられる教員を目指して学んでいきます。

**部活動も勉強もがんばりぬいた経験を力に、
二つの夢を追いかける。**

北里大学看護学部看護学科

笠本 遥花（進学コース2020年3月卒業）

二人の姉が和洋で母にも勧められたことと、部活動や語学研修も目的で高校から入学。何事も自分に負けずにがんばりぬくと心に誓いました。部活動は、部活動体験を通して強豪の水泳部に入部を決意。ほぼ初心者でしたが、毎日、部活ノートをつけて復習し、課題を意識して練習。そんなPDCAの習慣は勉強面でも役立ちます。練習は毎日あるため、授業で教わることは授業内で理解するよう努めて試験対策をしました。将来の夢は、看護師かCA。大学は看護を選びましたが、看護学や保健師・助産師の資格、緊急時に冷静な判断を下せる資質は、CAにも有利です。どちらの夢も諦めず挑戦していきます。



**大学も大好きな和洋で学び、
食を通して健康と幸せを届けたい。**

和洋女子大学家政学部健康栄養学科

橋本 佳奈（進学コース2020年3月卒業）

説明会で会った先輩達の上品な姿に憧れて高校から入学。内進生も高校からの生徒も共通して真面目で穏やか、勉強を教え合うやさしい雰囲気が好きでした。そして一人ひとりを見守り支えてくださる先生方。和洋で学び、いろいろなことを大切に感謝できる人になりました。和洋らしい良さは大学も同じです。管理栄養士を目指し様々な大学を見学しましたが、研究内容や環境含め和洋女子大に勝る大学がないと実感し、内部進学を決心。大学では、他の大学や企業と連携した商品開発も楽しみです。夢はカフェを開くこと。かわいらしくておいしいメニューで、健康と幸せを届けたいと思います。

